



令和3年6月18日

## 農地保全に取り組む団体が受入：新潟大学の学生が 農地保全の取り組みを学び、地元農家と交流します

見附市地域おこし協力隊が所属する一般社団法人農村振興センターみつけが、新潟大学創生学部の授業「フィールドスタディーズ（学外学修）」の受入機関となり、下記の通り学生を受け入れます。

### ■フィールドスタディーズ(学外学修)とは

学生が企業や自治体など、学外のフィールドに赴き、グループで活動を行う授業。現場の方々のサポートを得ながら課題を発見し、学生主体の企画や提案を行う。

### ■参加者

新潟大学創生学部1年生4名、指導役の3年生1～2名 計6名程度

### ■学生が取り組むテーマ

「多面的機能支払」による農村集落を守りつづけるアイデアの構築

※多面的機能支払とは？

農林水産省が設立した助成金制度。農業の有する多面的な機能(国土保全、水源かん養、景観形成等)の維持発揮のため、農地や水路などの地域資源の保全活動を行う組織に対し支援するもの。農村振興センターみつけはこの制度を活用して活動している。

### ■日程 ※詳細なタイムスケジュールについては現在調整中です。

6月22日(火)

午前：栃窪町（無人集落における農地の保全活動について学ぶ）

午後：ネーブルみつけやパティオにいがた内の直売所等を見学

6月24日(木)

午前：市役所（市長や農林創生課を訪問）

午後：三林町（そば畑の見学や、農家との交流）

### 【本件の問合せ先】

（一社）農村振興センターみつけ 椿 事務局長 ☎ (0258) 86-8411

送信枚数 1 枚（この表紙含む）

発行者：見附市役所 企画調整課 秘書広報係 野村（内線303）

☎ (0258) 62-1700 FAX (0258) 63-1006

